平成21年度交付分

区分		金額	内訳
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	(494,846,000) 28,537,004,142	①業務達成基準を採用した業務：すべての事業 ②当該業務にかかる損益等 損益計算書に計上した費用の額：29,154,456,445円 自己収入にかかる収益計上額：図書販売収入474,899円 固定資産の取得額：32,594,350円 敷金等の取得額：1,539,729円 ③運営費交付金収益化額の積算根拠 中期計画の予定どおりに業務が進行したので、当該業務に充てられる運営費交付金の計画額の全額を収益化
	資産見返運営費交付金	32,594,350	
	資本剰余金	1,539,729	
	計	(494,846,000) 28,571,138,221	
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	0	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	0	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	0	—（費用進行基準を採用した業務は無い）
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	0	
会計基準第81第３項による振替額		0	（該当なし）
合計		(494,846,000) 28,571,138,221	

(注)　平成21年度の上段の括弧書きは、平成21年度補正予算として措置された額を外数で表す。

(3)　運営費交付金債務残高の明細

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成20年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	0	前払費用、旅費仮払金であり、平成21年度に収益化を行い、運営費交付金債務残高はない。
	期間進行基準を採用した業務に係る分	0	（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	0	（費用進行基準を採用した業務は無い）
	計	0	
平成21年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	101,310,779	運営費交付金の収益化対象外のもの（前払費用、旅費仮払金）であり、精算時に収益化を行う。
	期間進行基準を採用した業務に係る分	0	（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	0	（費用進行基準を採用した業務は無い）
	計	101,310,779	